

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第125号 平成28年10月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス : <http://www.fuku-ot.org/>



特集：臨床で始める作業療法研究入門

目次

巻頭言：「障害者権利条例」の成立に向けて 公益社団法人 福岡県作業療法協会 副代表理事 竹中 祐二 (麻生リハビリテーション大学校)	・・・1
会長行動	・・・1
特集：臨床で始める作業療法研究入門 学校法人国際学園 九州医療スポーツ専門学校 作業療法学科開設準備室 日本作業療法士協会 学術部・学術誌「作業療法」編集委員 久野 真矢	・・・2
定期社員総会議事録	・・・7
臨時理事会議事録	・・・9
第2回理事会議事録	・・・10
第3回理事会議事録	・・・13
各部・委員会からのお知らせ	・・・16
Occupation : 小出 裕幸	・・・19
リレーエッセイ : 多々良リハビリテーション病院 作業療法士 新城由美	・・・20
会員動向調査	・・・22



巻頭言 「障害者権利条例」の成立に向けて

公益社団法人 福岡県作業療法協会 副代表理事 竹中 祐二（麻生リハビリテーション大学校）

今年の4月から「障害者差別解消推進法」（以下、解消法）が施行されました。解消法はその名のとおり、障害者差別をなくすことを目的とした法律です。なくしたい差別は「不均等待遇」と「合理的配慮の不提供」です。そして目指すは「共生社会」の実現です。

解消法が目指す共生社会とは、昨年改正された障害者基本法に謳われている基本原則のひとつで格差・排除のない社会構築に向けた理念として広く使用されている概念です。

しかし、改正障害者基本法の第4条で「差別の禁止」が明記されているにも拘らず、解消法においては、差別の「禁止」ではなく「解消」という弱い表現がなされています。そのため、当事者たちはそこに示された努力義務を具現化するために実体法としての法制度 — すなわち自治体条例を当事者の言葉でやることで意見が一致しました。法律に盛り込めなかったものを条例で補完し、障害者人権条約の理念により近づく法的枠組みを作るためです。

今、日本各地で「障害者差別禁止条例を作る会」が発足し、それぞれの自治体で条例作りに向けた活動が行なわれています。「福岡市に障害者差別禁止条例を作る会」（以下、作る会）もそのひとつです。同会は2012年から活動を始め、福岡市在住の障害のある人々の差別体験アンケート報告書、回答集を今年福岡市に上程しました。それを受けて、福岡市は作る会のメンバーと有識者らで構成される条例検討会議を設置し、具体的事例を基にした条例作りがスタートしました。条例施行は2018年度中を目指しています。今後の条例検討会議の成り行きを見守りたいと思います。

※福岡市のホームページでは条例検討会議の内容を閲覧することができます。また、作る会の報告書、回答集もダウンロードできます。会員の皆さまも一度眼を通していただきたいと思います。

会長行動（平成28年7月～9月）

- | | | | |
|----|-----|---|-------|
| 7. | 8. | 九州高齢者住宅情報センター「作業療法の紹介記事」 | 取材受け |
| | | 場所：北九州市立総合療育センター | |
| 7. | 28. | 横倉義武日本医師会会長就任祝賀会 | 出席 |
| | | 場所：ホテルニューオオタニ博多 | |
| 7. | 30. | 朝日広告社「一般社団法人日本作業療法士協会 設立50周年記念特集号」 | 打合せ |
| | | 場所：北九州市立総合療育センター | |
| 8. | 1. | 公益社団法人 福岡県作業療法協会 平成28年度第3回理事会 | 出席 |
| | | 場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所 | |
| 8. | 5. | 一般社団法人日本作業療法士協会「福祉用具対策委員会」協力事業「（仮称）生活行為の不便さを助ける道具等の情提供事業」協力員への説明会事前会議 | 出席 |
| | | 場所：リファレンスはかた近代ビル | |
| 8. | 8. | 朝日広告社「一般社団法人 日本作業療法士協会50周年記念記事」 | 取材 出席 |
| | | 場所：足原市民センター | |
| 8. | 19. | 公益社団法人福岡県作業療法協会「地域包括ケアシステム推進会議」 | 出席 |
| | | 場所：福岡医健専門学校 | |
| | 20. | 一般社団法人日本作業療法士協会「福祉用具対策委員会」協力事業「（仮称）生活行為の不便さを助ける道具等の情提供事業」協力員への説明会 | |
| | | 場所：キャナルシティ博多 | |
| 9. | 9. | 第50回日本作業療法学会 | 参加 |
| | 10. | 場所：ロイトン札幌等 | |
| 9. | 24. | 平成28年度第3回47委員会 | 出席 |
| | | 場所：TKP新宿カンファランスセンター | |
| | 25. | 一般社団法人日本作業療法士協会 設立50周年記念式典 | 参加 |
| | | 場所：ハイアットリージェンシー東京 | |

臨床で始める作業療法研究入門

学校法人国際学園 九州医療スポーツ専門学校 作業療法学科開設準備室

日本作業療法士協会 学術部・学術誌「作業療法」編集委員

久野 真矢

はじめに

臨床と研究は別物と考えていないだろうか？「担当しているクライアントは、一体どこまで良くなるのだろうか？（予後予測）」、「新たに担当することになったクライアントには、どのような治療・介入をすると良いのだろうか？（治療・介入効果）」．おそらく臨床現場では、このような疑問を抱きながら日常の臨床実践に携わっているのではないかと思う．

研究とは疑問を解決して、新しい知識を発見することである．したがって、疑問を抱いた時点で実は研究の第一段階のすぐ手前にいることになる．しかし、大半は周囲の同僚や上司にアドバイスを求め疑問を解決することが多いと指摘されている¹⁾．アドバイスが推奨グレードやシステマティックレビューに基づいた最新・最良の知見であれば、エビデンスに基づいた作業療法（EBOT）を実践するためのリサーチ・エビデンス（研究によって明らかにされた科学的根拠・証拠）を収集できたことになる．しかし、大半は経験値に基づいたアドバイスであることが多い．EBOTでいえばセラピスト・エビデンスを収集したことにはなるが、リサーチ・エビデンスは収集できずに臨床実践を行っていることになる．

おそらくこのような状況で日常の臨床に携わっている人が多いのではないかという推測のもと、日常の臨床実践に研究の思考と行動の習慣を取り込み、臨床研究に携わり始めるために必要な研究法に関することを本稿ではまとめてみたいと思う．

研究とは

研究とは、前述したように疑問を解決して、新しい知識を発見することである．したがって、解決したいこと、知りたいことを文章として文字言語化すること、つまりリサーチ・クエスチョン（研究疑問）を設定することが研究の第一段階である．その後、表1に示すようにリサーチ・クエスチョンに対して文献レビューを行い、研究計画を立案し、場合によっては予備研究（パイロットスタディ）を行い、再度、研究計画を修正し、計画に基づいて研究を実施し、報告するという一連の研究工程を辿る²⁾．

表1 研究工程

- | |
|------------------------------|
| 1) リサーチ・クエスチョンの設定 |
| 2) 文献レビュー(⇔リサーチ・クエスチョンの絞り込み) |
| 3) 研究計画立案(⇔パイロットスタディ) |
| 4) 研究実施(データ収集と分析) |
| 5) 研究報告 |

疑問を創り出すコツ

研究の第一段階であるリサーチ・クエスチョンを設定するには、前段階として知りたいこと、解決したいこと、疑問に思っていることがはっきりしている必要がある．しかし、疑問に思うことや疑問を書いて表すことは意外に難しい．その理由として、疑問に思わない思考の習慣が定着していること、本を読まない・文章を書かない行動の習慣が定着していることが影響しているのではないかと推測する．特に新人作業療法士であれば、何をどうすればいいのかさえわからないことが多いので、上司や同僚・先輩から教えられたことをそのまま鵜呑みにすることが多いのではないだろうか．

白取³⁾が述べているように、日常的に“なぜ”“どうして”“だから何”と考える習慣をつけること、感じたことを書いてメモに残す習慣をつけることが大事のように思う．瞬間的に感じたこともメモに残さなければ、ワーキングメモリには容量があるので時間の経過とともに忘却してしまう．疑問に思うという思考回路であるからこそ、解決するための行動、つまり、研究活動につながるのだと思う．日常の臨床実践を通して、ふと浮かんだ疑問や感じたことをメモに残すことからまず始めてはどうだろうか．この疑問がリサーチ・クエスチョンのもととなるクリニカル・クエスチョン（臨床疑問）といわれるものである．ちょっとしたメモ書きでも書き出すことで思考の整理が付き、研究の第二段階である文献レビューを行うことで、点と点がつながり、研究を実施して解決するための疑問、つまりリサーチ・クエスチョンを絞り込むことが可能になる．

文献レビュー

クリニカル・クエスチョンをメモ書きできれば研究の第二段階である文献レビューに移行することができる．文献レビューは研究工程の中で最も重要な工程として位置づけられており、あらゆる研究の基礎となるもので文献的研究ともいわれる．しかし、医学研究では文献レビューが軽視されているという指摘もある．

文献とは研究を行ううえで参考となる文書・書物のことであり、論文や図書、インターネットなどによって得られた情報などが該当する．文献レビューとは、研究テーマに関連する先行研究（過去に行われ先に報告されている研究のこと）の歴史や内容を調べ、先行研究で明らかにされていることや現状では未解決であること、今後の研究課題を明らかにすることである．この工程をしっかりと行うことで、リサーチ・クエスチョンを具体的に絞り込むことが可能になる．

クリニカル・クエスチョンに直接、関係する文献を効率よく探し出すコツは、総説（文献レビューをまとめた論文）を探し出すことである．さらに、高

度な文献レビューであるシステムティックレビュー（系統的総説）やメタアナリシスによる論文を探し出すこと、また治療ガイドライン（Minds⁴）が提供している疾患別ガイドラインのように推奨グレードが記述されているもの）などを探し出すことで、EBOTに必要なリサーチ・エビデンスを収集することができる。

システムティックレビューとは、ある特定のテーマについて行われた研究を網羅的に収集し、評価と分析、統合を行い、その時点での結果のまとめを行ったものをいう。メタアナリシスとは、複数の研究結果を統計学的に統合することであり、メタアナリシスが行われているシステムティックレビューを定量的システムティックレビューと呼ぶ。システムティックレビューやメタアナリシスによる論文は、コクランライブラリー⁵ やOTseeker⁶ などの文献データベースから検索・収集することができる。

文献レビューの工程やポイントの詳細については、学術誌「作業療法」第34巻第3号（2015年6月発行）に掲載された『臨床家のための研究のすすめ：実践編 第8回「文献レビューで研究疑問を絞り込む」』⁷ にて具体例の紹介を交えて解説している。参考にしていただくと幸いである。

研究という枠組みの中で文献レビューについて述べてきたが、読者のほとんどがプライベートではスマートフォンなどを使ってキーワードを設定して日常的に“ググる”ことをしていると思う。文献レビューも同じ感覚で捉えてもらえれば良い。普段はおいしいお店を探すために“ググる”ときのキーワードが専門用語にかわるだけである。特に、インターネットを使い慣れている若い世代の作業療法士は、効率よく質の高い文献や情報を探し出すことが早く習得できると思う。

研究デザイン

研究という言葉を知ると、「研究＝統計学＝難しくわからない⇒自信がない・関わらずに避けて通りたい」という認識である人が多いと思う。しかし、研究＝統計学ではなく、研究デザインによって統計学の知識が必要なものもあれば、必要のないものもある。

本稿では、Deitzの分類を一部修正した鎌倉² による研究デザインの分類を紹介する（表2）。研究デザインを大別すると量的研究と質的研究に二分される。量的研究は文字通り“数値”で表す研究であり、統計学の知識が必要となる。量的研究は量的集団研究と量的単一事例研究に分類され、量的集団研究は記述的研究、関連性研究、実験的研究に分類される。記述的研究は実態調査などが該当し、関連性研究はBarthel IndexとFIMの相関など2つ以上の事象の関係を調べるものが該当し、実験的研究は治療効果など因果関係を調べるために行われるものをいう。研究と聞くと大抵の人が思い浮かぶのがこれらの量的集団研究に関するデザインと思う。また、量的単一事例研究はシングルケース実験法、シングルケース研究法などと呼ばれるもので、文字通り少数事例を対象として治療効果を確かめる比較的新しい

研究手法である。

一方、質的研究は“言葉”で表す研究であり、統計学ではなく違うものが必要となる。質的研究にはグラウンデッドセオリー（GTA）、エスノグラフィック（民族誌学的）スタディ、現象学的研究、生活史研究などがあるが、明確な分類のコンセンサスは得られていない。社会学や文化人類学などで発展してきた、ある集団の文化やある人の社会的背景といった現象を深く理解したい場合に用いられる研究手法である。

また、最近では量的研究と質的研究の両者を相互補完的に用いるデザインとしてミックス・メソッドといわれるものが注目されている。したがって、量的研究の経験がある読者にとっても、質的研究の経験を積むことは自身の研究力向上につながると思う。

表2 研究デザインの分類

1. 量的研究
1) 量的集団研究
① 記述的研究
② 関連性研究
③ 実験的研究
2) 量的単一事例研究
シングルケース実験法
2. 質的研究
1) 質的集団研究(フィールドワーク)
2) 質的事例研究(事例研究)
3) 文献的研究
歴史研究, 理論研究など

リサーチ・クエスチョン

リサーチ・クエスチョンとは、2つ以上の概念の関係について知りたいことが何かを言葉で表したものであり、タイプⅠとタイプⅡの2種類がある。タイプⅠは2つ以上の概念の関係が言葉で表現されているものであり、「AとBは等しいか？（ $A=B$?）」、「AはBよりも大きいか？（ $A>B$?）」などのように数学記号で表すことができるものである。（具体例：「A介入法がB介入法よりも高次脳機能障害を持つ人のADL能力を改善するのか？」）

一方、タイプⅡは概念そのものが何か、関係が何かを言葉で表現しているものであり、「Aとは何か？（What is A ?）」、「Aはなぜ起きるのか？（Why does A happen ?）」などのように疑問詞を使って英文で表現できるものである。（具体例：「作業療法とは何か？」）

また、重要なことは設定したリサーチ・クエスチョンがどちらのタイプかで自ずと研究デザインが決まってくることである。リサーチ・クエスチョンと研究デザインの関係を表3に示す。

表3 研究デザインとリサーチ・クエスチョンの関係

リサーチ・クエスチョン	研究デザイン		
タイプI	シングルケース 実験法	関連性研究	実験的研究
タイプII	記述的研究	質的研究	

タイプIIに対応する研究デザインは仮説形成型研究といわれるものであり、数値を使って実態を明らかにしたいのであれば記述的研究、現象を深く言葉で理解したいのであれば質的研究になる。タイプIに対応する研究デザインは仮説検証型研究といわれるもので、評価スケール間の相関など関連を知りたいのであれば関連性研究、治療効果を知りたいが少数例の対象者しか確保できない、あるいはそれほど一般的となっていない治療法の効果を検証したいのであればシングルケース実験法、集団を対象として治療効果の検証を明らかにしたい場合は実験的研究になる。

臨床研究の事始め:事例報告(事例研究)

EBOTの実践にはリサーチ・エビデンスを収集する必要がある。エビデンスレベルを表4に示す。医学領域において強いエビデンスを示すものは、表中の1aに該当する複数のランダム化比較試験のメタアナリシスによるものである。しかし、作業療法において1aに該当するエビデンスは少ない。

事例報告(事例研究)はエビデンスレベルとしては低いかもしれないが、近年、事例報告(事例研究)の価値が見直され、学術誌「作業療法」においても「実践報告」という種目の論文投稿を推奨している。「作業療法は実践ありき」である。臨床において、通常の評価法や介入法ではうまく対処できず、試行錯誤を重ねた結果新しい発見があった時には他者に知らせる意義が十分ある。学会や事例登録制度などにおいて事例報告(事例研究)を行うことが臨床研究の第一歩といえる。

まずは、日常の臨床で担当しているクライアントの評価データやクライアントの語り、介入内容などを記録し、事例報告(事例研究)を試みることから始めてはいかがだろうか。良い事例報告の要点²⁾を表5に示す。要点の1つに文献検索があげられているように、日常の臨床実践を行う上でも文献レビューは重要であることを認識する必要がある。

表4 エビデンスレベル

1a	ランダム化比較試験のメタアナリシス
1b	少なくとも一つのランダム化比較試験
2a	ランダム割付を伴わない同時コントロールを伴うコホート研究 (前向き研究, prospective study, concurrent cohort studyなど)
2b	ランダム割付を伴わない過去のコントロールを伴うコホート研究 (historical cohort study, retrospective cohort studyなど)
3	ケース・コントロール研究(後ろ向き研究)
4	処置前後の比較などの前後比較, 対照群を伴わない研究
5	症例報告, ケースシリーズ
6	専門家個人の意見(専門家委員会報告を含む)

(日本作業療法士協会:疾患別作業療法ガイドラインより)

表5 良い事例報告の要点(文献2より)

- 1) 介入が行われるに至った経緯が示されている
- 2) 開始時の障害像が明確に示されている
- 3) 障害像の考察と介入方法に関する介入者の考え方がはっきり述べられている
- 4) 介入内容が具体的に詳しく述べられている
- 5) 介入に対する対象者の反応が具体的に示されている
- 6) 時間経過が示されている
- 7) 介入の修正が行われた場合、理由と修正内容が明らかである
- 8) 介入成果が検査成績の変化や具体的な行動の変化によって示されている
- 9) しっかりした文献検索がなされている
- 10) 著者から見た事例の意義が示されている

臨床で有用な治療・介入効果判定法 : シングルケース実験法

事例報告(事例研究)の次の段階として、治療・介入法の効果を検証したいのであればシングルケース実験法による研究デザインが臨床では実行しやすい。心理学・生理学の領域において、1960年代後期~1970年代にかけて登場した新しい実験法であり、Single-case design, Single-system design, Small-N designなど様々な呼称で呼ばれている。治療・介入法の効果を判定するために一定期間にわたり計測を繰り返す方法で因果関係を追跡する実験法である。文字通り単一事例または少数事例を対象とするので、研究対象も確保しやすく、臨床で使える有用な研究法の一つといわれている。

シングルケース実験法の基本的な手続きは、①測定指標の決定、②ベースライン期と介入期のデータ収集、③効果判定、からなる。以下に、著者らが行った高齢者施設住環境デザインに関連する先行研究⁸⁾を通して説明する。シングルケース実験法を用いて調べたリサーチ・クエスチョンは「大規模定員の高齢者施設食堂では、少人数で囲む椅子の配置としたテーブル周囲に仕切りが設置された環境において、認知症高齢者の情動状態の安寧や社会的交流が増加するのか」であった。「A>B?」と数学記号で表すことができるのでタイプIのリサーチ・クエスチョンである。

①測定指標の決定: 介入法の効果を判定するための測定指標を決める。統計学的用語でいう従属変数(結果として示されるもの)の決定である。著者らの先行研究では、環境調整による効果を情動や社会的交流によって判定することにしたので、情動はApparent Affect Rating Scale (AARS)とDementia Mood Assessment Scale (DMAS)それぞれの評価点、社会的交流は8種類の交流評価指標を使用した陽性交流と陰性交流の出現率を測定指標とした。

②ベースライン期と介入期のデータ収集: ベースライン期とは特定の介入を行わない期間のことでA期とよぶ。介入期は介入を行った期間のことでB期と呼ぶ。著者らの先行研究では、ベースライン期は通常の状態設定、介入期はテーブル周囲に仕切りを設置した環境設定となる。このA期とB期の配置の仕方でタイプが分かれる。基本はベースライン期(A期)⇒介入期(B期)の配置とするAB型である。著者はベースライン期(A)⇒介入期(B)⇒ベースライン期(A)⇒介入期(B)という配置で行ったのでABAB型デザインと呼ぶ。各期に5回ずつビデオ撮影を行い、

ビデオ記録をもとにAARS, DMAS, 陽性交流と陰性交流の出現率をそれぞれ測定した。

③効果判定：シングルケース実験法ではグラフの目視によって行うのが基本である。つまり、A期とB期それぞれに測定した指標の傾向をグラフ上で視覚的に見比べて差があるかどうか判断する。しかし、グラフの目視のみで結論を下すことに頼るのは不安であるために、加減速線法や標準偏差帯法といった“半”統計学的方法が併用される場合もある。また、最近のシングルケース実験法による研究ではいわゆる統計学的解析も併せて行っている報告もある。著者らの先行研究結果を図1に示す。効果判定はグラフの目視と標準偏差帯法*1, さらに統計学的解析としてWilcoxon符号付順位検定*2を行った。

以上、シングルケース実験法の手続きについて先行研究を通して概要を説明した。詳細は、「作業療法」第27巻第1号（2008年2月発行）掲載の『高齢者施設食堂のテーブル周囲に仕切りを設置した環境設定が、認知症高齢者の情動、社会的交流に及ぼす影響』⁸⁾を参考にさせていただけると幸いである。

*1 標準偏差帯法：シングルケース実験法に用いられる統計学的分析手法の1つ。手順：ベースライン期の平均値と標準偏差 (SD) を求め、ベースライン期の平均値±2SDの範囲(帯)をグラフに描く。判定：介入期の値が帯より外にあればベースライン期と介入期の測定値は異なる傾向を持つと見なし、連続した2点が平均値±2SDの帯の外にあれば両期の違いは有意と判断する。

*2 Wilcoxon符号付順位検定：1標本の2つのデータの差を検定するノンパラメトリックな手法（例えば同じ対象の介入前後を比較するとき）。符号検定より検出力が高いとされる。

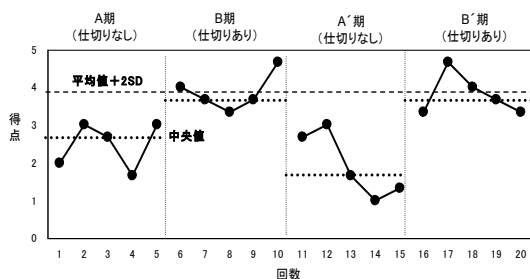


図1 認知症高齢者に実施した環境調整による情動の得点変化（文献8より）

事象を深く理解する研究: 質的研究

質的研究とは“言葉”で表す研究であり、自由記述形式による質問紙、インタビュー、行動観察などによって得られた言語データ（質的データ）をそのまま分析対象として、統計学を使わず解釈による分析を行うことである⁹⁾。クライアントの背景や適応過程についてクライアントの語りを通して深く理解したい場合などが質的研究を用いた研究計画になる。質的研究の基本的手続きを図2に示す。

以下に著者らが行った認知症高齢者の社会的交流に関連する先行研究¹⁰⁾を通して説明する。質的研究手法を用いて調べたリサーチ・クエスチョンは「認知症高齢者はどのような交流を他者と営んでいるのか?」であった。「What kind of ~」と疑問詞を使った英文で表現できるのでタイプIIのリサーチ・クエスチョンになる。

①データ収集：質的研究は自由記述形式による質問紙、インタビュー、行動観察などによってデータを収集する。著者らの先行研究では、認知症高齢者小集団の茶話会活動をビデオ撮影しデータを収集した。その後、ビデオ記録から行動記録を作成し、行動の最小のひとまとまりごとに評価者による他者との交流の観点から解釈づけがなされたカードを分析用データとした。

②データ分析：グラウンデッドセオリーやKJ法などが分析方法として利用されることが多い。KJ法とは文化人類学分野において川喜田¹¹⁾が考案した方法である。KJ法は名刺程度の大きさのカードにデータを転記し、そこから読み取れる内容を基にカードをグループ分けし、グループごとの関係を図解化する。図解を基に文章化を行い、データの解釈を行うという手順をとる。最近はこの手順をラベルワークと呼ぶ。著者らの先行研究では、分析用カードに示される交流の親和性によってカテゴリー化（=似た者同士のカードをグループにしていくこと）を行い、名称をつける手順を繰り返し行い、各カテゴリー間の関係を検討した。

③結果：結論の根拠となる図解とデータの重要部分を提示する必要がある。また、図解を読者など他者に十分に理解可能なように説明する必要がある。著者らの先行研究では、分析カード総数4706枚が第1段階で574カテゴリー、第2段階で68カテゴリー、第3段階で26カテゴリー、第4段階で最終的に8カテゴリーに分類された。8カテゴリーにはそれぞれ、「楽しみと和みの交流」、「同意や興味を伴う交流」など8種類の交流指標があることが見出された。

以上、質的研究の手続きについて先行研究を通して概略を説明した。詳細は、「作業療法」第24巻第1号（2005年2月発行）掲載された『痴呆性高齢者の間で営まれる社会的交流に対する行動分析』¹⁰⁾を参考にさせていただけると幸いである。

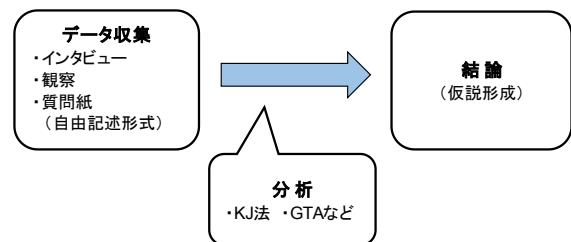


図2 質的研究の手続き

研究デザインの選択

量的研究と質的研究のどちらを行うのか? その選択について、統計学が苦手なので量的研究ではなく質的研究を行うという消極的選択をする人がいるかもしれない。しかし、前述したように、リサーチ・クエスチョンのタイプはどちらか? どうやって解決するのか? という研究工程に順じて研究デザインを選ぶのが本筋である。

また、研究デザインのところで、量的研究には統計学の知識が必要となり、質的研究では違うものが

必要となると述べた。何が必要かという、質的研究のためのデータの収集や分析の仕方といった独特な知識とスキルが必要である。さらに、量的研究であれば統計学的解析は専用のソフトが一瞬のうちにやってくれるが、質的研究の場合、データ収集、データ分析の準備、そして分析といずれの工程において手間暇（時間と労力）がかかる。しかし、文房具を使ってカードを作成したり、グループでラベルワークを行ったりと、傍から見れば研究しているようには見えない楽しい時間に携わることができる。どちらかというと呑気な人・コツコツできる人に質的研究は向いていると思えるが、短気な性格を直したい人にもお勧めできる研究デザインである。

研究報告

研究の最終工程である研究報告には学会発表と論文発表がある。「まなぶ（学ぶ）」は「まねぶ・まねる（真似る）」ことからといわれている。まずは、学会などに参加して、自分にとってわかりやすいと思える口述発表の仕方、ポスターのレイアウトやデザイン、学会抄録の書き方などを探索して手本となる人（＝「型」）を発見し、模倣することから始めればよいと思う。そして、担当しているクライアントを通して事例報告（事例研究）をまとめ、県学会・全国学会などで発表してみたいかがだろうか。

全国学会の演題登録は年々増加の一途をたどっている。しかし、学術誌「作業療法」などへの論文投稿数はさほど変わっていない。研究の最終目的地は論文発表である。つまり、実に多くの人が研究の最終目的地に辿り着いていないのが現状である。福岡県作業療法協会は学術誌「作業療法・福岡」を発行している。論文投稿の登竜門の学術雑誌と個人的には位置づけている。学会発表は行ったものの論文として発表していない読者は「作業療法・福岡」に投稿してみたいかがだろうか。望まれる論文の要点を表6に示す。

表6 望まれる論文の要点（文献12を一部改変）

1) 思わずなんだろうと読みたくなるような魅力的な表題
2) それだけで内容についての必要十分な情報が得られる簡潔な抄録
3) どのような読者にも興味を持たせるような「はじめに」
4) 簡潔に提示された方法と図表を入れて明快に説明された結果
5) 症例報告では、効果的な図表などを入れた簡潔で十分な症状や経過の説明
6) 説得力がありながらも謙虚な考察
7) 投稿誌の規定にきちんと沿った引用文献
8) きれいで見やすい図や表

おわりに

人間は知ったことを実践して初めて出来るようになるといわれている。

- ・ “なぜ” “どうして” “だから何” と考えることを意識すること。
- ・ 日常の中でふと浮かんだ疑問や感じたことをメモに残すこと。
- ・ 疑問をキーワードとしてインターネット検索を試みる。
- ・ 担当したクライアントの評価結果や語り、介入内

容を記録・保存すること。

これらを意識して、実行することを習慣にすれば、自ずと事例報告（事例研究）を行うための基盤ができていくと思う。その延長線上には、個人で行うシングルケース実験法を使用した介入効果判定、クライアントの想いを深く理解する質的研究がある。また、部門単位で実行すればエビデンスレベルの高い研究デザインを採用した介入試験やコホート研究へとつなげていくことができる。

本稿では、臨床の作業療法士にとって研究が身近なものになることを念頭に、研究法の基本的知識に関する概要と事例報告（事例研究）、臨床で実行しやすいシングルケース実験法、質的研究などについて紹介した。

本稿を読んで点灯した研究意思・意欲は同志と時間・場を共有することで継続につながると思う。著者らは福岡OTD研究会にて「初心者のための研究法と統計学の入門講座&リサーチカンファレンス」を定期開催している。参加されると良い刺激になり、交流が広がると思う。また、研究に関する問い合わせも随時、対応している（<http://r.goope.jp/hisano-lab>）。気軽にお問い合わせいただくと幸いです。

文献

- 1) Bennett S, et al: Introducing OTseeker (Occupational Therapy Systematic Evaluation of Evidence): A New Evidence Database for Occupational Therapists. AJOT 57:635-638, 2003.
- 2) 鎌倉矩子, 他: 作業療法士のための研究法入門. 三輪書店, 東京, 1997.
- 3) 白取春彦: 頭がよくなる思考術. 株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン, 東京, 2005.
- 4) Minds (マインズ): 診療ガイドライン. <<http://minds.jcqh.or.jp/n/top.php>> (参照2016-07-21)
- 5) Cochrane Library: <www.cochranelibrary.com/> (参照2016-07-21)
- 6) OTseeker: <www.otseeker.com/> (参照2016-07-21)
- 7) 久野真矢: 臨床家のための研究のすすめ: 実践編第8回「文献レビューで研究疑問を絞り込む」作業療法34: 213-218, 2015.
- 8) 久野真矢, 他: 高齢者施設食堂のテーブル周囲に仕切りを設置した環境設定が、認知症高齢者の情動、社会的交流に及ぼす影響. 作業療法27: 17-26, 2008.
- 9) 田中博晃: 質的研究のための評価基準: KJ法を用いた動機づけ研究での例. 外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部メソドロジー研究部会2011年度報告論集. pp. 106-120.
- 10) 久野真矢, 他: 痴呆性高齢者の中で営まれる社会的交流に対する行動分析. 作業療法24: 60-70, 2005.
- 11) 川喜田二郎: KJ法—混沌をして語らしめる. 中央公論社, 東京, 1986.
- 12) 仙波純一: 精神科症例報告の上手な書き方. 星和書店, 東京, 2008.

平成28年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会議事録

- I. 開催日：平成28年6月5日（日）
- II. 時間：11時00分～12時00分
*11時40分～11時50分の間、一旦休会し臨時理事会を開催
- III. 場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
- IV. 正会員数：2,587名（平成28年4月1日現在）
- V. 代議員総数：41名
- VI. 本総会出席代議員数：本人出席 34名 書面評決者 7名
- VII. 出席者氏名：<代議員本人出席>
黒木勝仁，竹中祐二，中尾達也，久野良浩，許山勝弘，町田真一郎，中島純二，青山克実，永田敬生，苗村俊助，日高健二，座小田孝安，玉野和男，中津留正剛，志井田太一，佐藤稔，中川昇，矢野浩二，深町晃次，松永裕也，榎本孝史，熊添潤一，轟木健市，原野裕司，有久勝彦，濱本孝弘，澤田剛，福田裕樹，近重諒，大田登志樹，松尾雅宜，平岡敏幸，田中真純，手島智康，
- <代議員書面評決者>
藤田曜生，田中聡，江口智則，古賀大亮，中原徳郎，深井信吾，室岡真弘，
- <監事>
原口健三，吉田秀樹
- <事務局>
鐘ヶ江秀俊，田邊慎一，藤崎実知子
- VIII. 議長，書記選出：
中川昇氏が開会を宣言し，定款第23条に基づき出席代議員の中から議長に志井田太一氏が選出された。ついで議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として中川昇氏，鐘ヶ江秀俊氏，藤崎実知子氏が選出された。
- IX. 議事の経過の要領及びその結果
議長は，議事運営委員長の大田登志樹氏より報告をうけ，上記のとおり定足数に足りる代議員の出席があったので本総会は成立した旨を報告した。
ついで議長は定款第27条の規定により，議事録署名人に町田真一郎氏，熊添潤一氏を任命した。
議事録署名人：町田真一郎氏（アイエック訪問看護ステーション）
熊添潤一氏（株式会社ハイライフ 福祉事業センター）
- 第1号議案：平成27年度事業報告
第1号議案，平成27年度事業について志井田太一代表理事より報告があった。
議決の結果，全員異議なく承認された。
- 第2号議案：平成27年度収支決算及び監査報告
第2号議案，平成27年度収支決算について中川昇氏より報告があった。また，吉田秀樹監事，原口健三監事より適正に運営されている旨の監査報告があった。議決の結果，全員異議なく承認された。

第3号議案：定款細則の変更について

第3号議案，中川昇氏より，定款細則第7条の公益目的事業費割合について，公益目的事業費約60%，収益目的事業等費10%，法人会計費約30%のように変更することの提案があった。議決の結果，全員異議なく承認された。

第4号議案：理事及び会員内監事の選任

第3号議案，当法人の理事及び会員内監事が定款の規定により本定期社員総会の終結をもって任期満了退任することになるため，新たな理事及び会員内監事の選任について，中川昇氏より報告があった。議決の結果，全員異議なく承認された。

第5号議案：会員外監事の選任

第4号議案，当法人の会員外監事が定款の規定により本定期社員総会の終結をもって任期満了退任することになるため，新たな会員外監事の選任について，志井田太一代表理事より，新理事会として吉田秀樹氏（吉田秀樹公認会計士事務所 公認会計士）を推薦する旨の報告があった。議決の結果，全員異議なく承認された。

X. 議長団解任

X I. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって総会が終了した。

以上の決議を明確にするために，本議事録を作成し，定款27条により議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成28年6月5日 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会



国際医療福祉大学大学院
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

福岡キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)

医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／看護学
分野／助産学分野／助産学(福岡)／医療福祉教育・管理分野／臨床検査学分野 等

医療福祉経営専攻
医療経営管理分野／診療情報アナリスト養成分野／医療福祉国際協力学分野／先進的
ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野

博士課程

保健医療学専攻
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／看護学
分野／助産学分野／視機能療法学分野／福祉支援工学分野／放射線・情報科学分野／
生殖補助医療胚培養分野／臨床検査学分野／医療福祉経営学分野／診療情報管理・分析学
分野／医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学
分野／医療福祉ジャーナリズム分野／医療福祉心理学分野

修了者数

修士課程 (平成12～27年度)

- 保健医療学専攻 1,512名
- ・作業療法学分野 106名
- 医療福祉経営専攻 557名

博士課程 (平成15～27年度)

- 保健医療学専攻 226名
- ・作業療法学分野 9名



主な教授陣

- 作業療法学分野 杉原素子教授
- 理学療法学分野 丸山仁司教授
- 言語聴覚分野 深浦順一教授
- リハビリテーション学分野 赤居正美教授
- 看護学分野 荒木田美香子教授
- 助産学(福岡) 齊藤ひさ子教授
- 医療経営管理分野／医療福祉経営学分野 武藤正樹教授、高橋泰教授

◆多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講。eラーニング科目も充実

◆福岡・大川・大田原・成田・東京青山・小田原・熱海に7つのキャンパスを設置

◆医療福祉における第一人者の講義を、複数のキャンパスで受講できる「同時双方向遠隔授業システム※」

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものがありますので、詳細につきましてはお問い合わせください

*修士課程は、短大・専門学校を卒業した満22歳以上の方も出願可能

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡キャンパス

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2-4-16
TEL 092-407-0434
E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

大川キャンパス

〒831-8501
福岡県大川市榎津 137-1
TEL 0944-89-2000
E-mail oocamp@iuhw.ac.jp

URL <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

平成28年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 臨時 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成28年6月5日(日) 11時40分～11時50分
II. 場所 : 公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 19名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘,
中川昇, 深町晃次, 田中真純,
青山克実, 佐藤稔, 福田裕樹,
手島智康, 有久勝彦, 許山勝弘,
永田敬生, 沖雄二,
大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男,
轟木健市, 黒木勝仁,
(以上, 理事) .
原口健三 (以上, 監事) .
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
吉田秀樹
欠席者氏名 : 深井伸吾 (敬称略)

VI. 審議事項

1. 会員外監事の推薦について

→承認

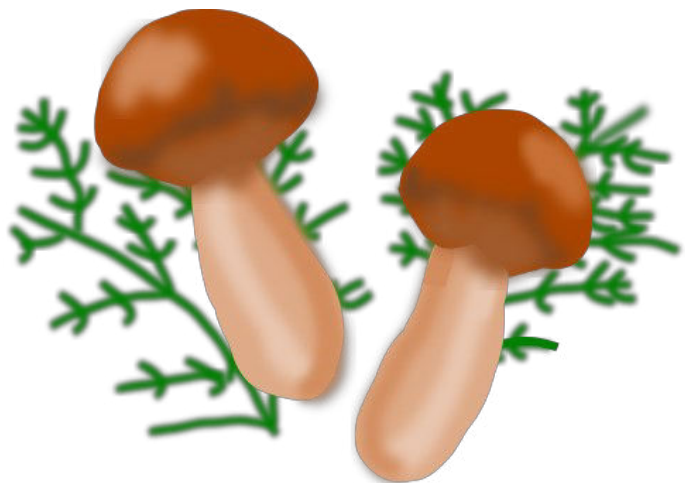
会員外監事として吉田秀樹氏(吉田秀樹公認会計士事務所 公認会計士)を推薦し, 社員総会において上程する.

VII. 次回開催日

平成28年度 第2回理事会

日時 : 平成28年6月5日(日) 13:00～

場所 : 公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所



平成28年度 第2回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成28年6月5日(日) 13時00分～14時45分
II. 場所 : 公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 20名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇, 深町晃次, 田中真純, 青山克実, 佐藤稔, 福田裕樹, 手島智康, 有久勝彦, 許山勝弘, 永田敬生, 沖雄二, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男, 轟木健市, 黒木勝仁, 深井伸吾(以上, 理事). 吉田秀樹, 原口健三(以上, 監事). 鐘ヶ江秀俊, 藤崎実知子(以上, 事務局)
欠席者氏名 : 田邊慎一(以上, 事務局) (敬称略)

VI. 審議事項

1. **代表理事, 業務執行理事, 事務局長の互選について** →承認
代表理事, 業務執行理事及び事務局長について以下のように互選した.
代表理事 志井田太一氏
業務執行理事 竹中祐二氏
濱本孝弘氏
事務局長 中川昇氏
2. **熊本震災への災害復興支援金の支給について(志井田代表理事)** →承認
熊本震災への災害復興支援金として一般社団法人熊本県作業療法士協会へ災害支援に役立てていただくため30万円を送る.
3. **教育部研修会の講師承認について(青山教育部担当理事)** →承認
以下の講師依頼について報告.
倉富真氏 (医療福祉専門学校 緑生館)
地域包括支援システムの中で精神科作業療法士は何ができるのか?
都甲幹太氏 (介護老人保健施設あやめの里) 生活支援で作業療法士が果たす役割
田中聡氏 (株式会社 リライブ) 生活支援で作業療法士が果たす役割
4. **現職者選択研修会(発達分野)の講師承認について(青山教育部担当理事)** →承認
以下の講師依頼について報告.
渡邊直美氏 (作業療法士)
佐野幹剛氏 (九州栄養福祉大学)
安川早苗氏 (西部療育センター)
高橋知義 (株式会社LikeLab)
5. **S I G登録申請について(青山教育部担当理事)** →承認
以下のS I G申請について報告.
学会・研修会名 : くるめ生活支援研究会
6. **ハートメディア講演会講師承認について(永田事業部担当理事)** →承認
以下の講師依頼について報告.
斎藤正彦氏 (東京都立松沢病院院長)

7. 特別支援教育推進研修会講師承認について（濱本業務執行理事） →承認
保健福祉部から以下の講師依頼があったとの報告。
岩永竜一郎氏（長崎大学医学部保健学科 准教授）
河野眞氏（国際医療福祉大学 教授）
8. 福岡ブロック研修会講師承認について（黒木福岡ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
中川美幸氏（早良病院 社会福祉士）福岡市の社会資源について
坂口聡子氏（コールメディカルクリニック福岡）ターミナルケアについて
坂井幸太氏（福西会病院）作業療法士に必要な脳の知識
太田研吾氏（福岡和白リハビリテーション学院）県民健康づくりセミナー
9. 筑豊ブロック研修会について（平岡筑豊ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
久野真矢氏（国際学院 作業療法学科開設室）認知症のQOLの概念と治療的方略
長城晃一氏（北九州リハビリテーション学院）パーキンソン病へのアプローチ
10. 北九州ブロック研修会について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
古賀昭彦氏（帝京大学福岡医療技術学部）臨床実習教育について
松野豊氏（柳川リハビリテーション病院）臨床実習教育について
11. 北九州ブロック研修会について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
小川浩一氏（下関リハビリテーション病院 副院長）
脊髄損傷後の生き方について～入院から社会復帰の全て～
12. 会員の入会について（中川事務局長） →承認
平成28年3月25日から平成28年5月29日までの間に50名の入会があった。
13. 筑後ブロック研修会について（轟木筑後ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
谷川良博氏（広島都市学園大学 作業療法学専門講師）
認知症の生活障害に対して作業療法士にできる事

VII. 協議事項

14. 協会ホームページの会員限定ページについて（許山広報部担当理事） →承認
協会ホームページの会員限定ページについて、パスワードの作成とその配布方法、会報のバックナンバー掲載の提案。
15. 組織再編成と理事員数の見直し及びそれに伴う代議員数の見直しについて
（志井田代表理事） →承認
当会で対応すべき課題が増加し、且つ事業の企画・運営も、より充実した内容を求められるようになってきていることから、組織再編成と理事員数の見直し及びそれに伴う代議員数の見直しをすることについて提案。まず、三役で原案を作成し、次期の代議員・役員改選に間に合うよう見直しを行う。
16. 平成28年度第1回会員向け福利厚生事業について（深町福利部担当理事） →承認
平成28年度第1回の会員向け福利厚生事業として以下の企画について提案。
利用施設 : ハーモニーランド
招待期間 : 平成28年7月16日（土）～平成28年8月31日（水）
対象 : 協会員とそのご家族（4歳未満の子どもは無料）
チケット : 650円（通常2,900円）

17. 企画委員会における協会ホームページの活用について（佐藤企画部担当理事） →承認
福岡県作業療法協会としてOTのアイデアを活かすコンテンツを作成し、一般の方や会員に広めること、また、会員から様々なアイデアを募集し共有することを目的としてホームページを活用する旨の提案。QRコードの使用や公式キャラクターなどについては詳細を確認した上で準備をすすめていく。
18. 福岡県作業療法協会表彰制度に対する各理事での協力依頼について →継続検討
（手島規約委員会担当理事）
福岡県作業療法協会表彰制度の表彰対象者選定のために、各部・委員会の運営に携わった会員の把握について提案。協議の結果、事務局、規約委員会で詳細を継続検討していくこととなった。
19. 第21回福岡県作業療法学会のホームページ業者の選定について →承認
（有久学術部担当理事）
第21回福岡県作業療法学会のホームページ管理業者について、ユアシス、AACの2社の提案。協議の結果、ユアシスに依頼。
20. 第21回福岡県作業療法学会の印刷業者の選定について →承認
（有久学術部担当理事）
第21回福岡県作業療法学会の印刷業者について、中澤印刷株式会社、築上印刷有限会社、コロニー印刷の3社の提案。協議の結果、中澤印刷株式会社に依頼。

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他、資料参照とする）

21. 代表理事行動について（志井田代表理事）
平成28年4月～5月の代表理事行動について報告。
22. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）
平成28年4月1日から5月31日までの間に県協会宛てに18件の依頼（研修会案内依頼1件、講師・委員派遣依頼13件、共催・講演依頼2件、その他依頼2件）があった。
23. 教育部主催研修会について（青山教育部担当理事）
平成28年1月30日（土）31日（日）に開催された九州作業療法士協会主催合同研修会に67名（福岡県4名）の参加があった。
24. 第21回福岡県作業療法学会開催について（有久学術部担当理事）
第21回福岡県作業療法学会について平成29年2月18日（土）19日（日）開催、会場は、そびあしんぐうを予定して準備を進めている。
25. 第2回九州広報戦略部会議について（許山広報部担当理事）
九州の広報部でホームページの作成を検討している。
26. 作業療法の日（9月25日）のイベントについて（永田事業部担当理事）
計画中である作業療法日のイベントについて会場を変更する必要がでてきた。イオン福津店またはイオン直方店を検討中。

IX. 次回開催日

平成28年度 第3回理事会
日時： 平成28年8月1日（月）19：00～
場所： 福岡県作業療法協会事務所

平成28年度 第3回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成28年8月1日(月) 19時00分～22時30分
II. 場所 : 公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 18名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇, 深町晃次, 青山克実, 佐藤稔,
福田裕樹, 手島智康, 有久勝彦, 許山勝弘, 永田敬生, 大田登志樹, 平岡敏幸,
玉野和男, 轟木健市, 黒木勝仁, 深井伸吾 (以上, 理事) .
吉田秀樹, (以上, 監事) .
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
欠席者氏名 : 田中真純, 沖雄二 (以上, 理事) 原口健三 (以上, 監事) (敬称略)

VI. 審議事項

1. 定款細則「第6章表彰」の内容変更について(手島規約委員会担当理事)

→承認(詳細検討)

定款細則「第6章表彰」の内容変更について提案。審議の結果、推薦書の内容など詳細は今後再検討することとし、内容を変更することについては承認。

2. 地域包括ケアシステム推進における研修開催費用及び講師の承認について

(深井保健福祉部担当理事) →承認

平成29年4月から始まる総合事業にむけて事業に関わる会員育成を目的に研修会を開催(北九州・福岡・筑後の3会場)することならびにそのための予算の追加について提案。審議の結果、開催については、承認。予算については各ブロック予算内で変更し対応。また、以下の講師依頼について報告があり承認。

志井田太一氏(日本OT協会の地域ケア会議推進委員)
初井剛士氏(地域ケア会議指導者養成研修会参加者)
深井伸吾氏(地域ケア会議指導者養成研修会参加者, 現保健福祉部担当理事)
濱本孝弘氏(久留米市地域ケア会議PTOTST連絡協議会代表)
玉野和男氏(北九州ブロック担当理事)
平岡敏幸氏(筑豊ブロック担当理事)
大田登志樹氏(福岡東ブロック担当理事)
黒木勝仁氏(福岡ブロック担当理事)
轟木健市氏(筑後ブロック担当理事)

3. MTDLP関連広報のFacebookの活用について(青山教育部担当理事) →継続検討

MTDLP関連情報を会員等に広報するためFacebookを活用すること、運用は教育部及びMTDLP推進部会で行い、担当者として瀧川浩之氏(早良病院)に依頼することの提案があった。

4. SIG登録申請について(青山教育部担当理事)

→承認

以下のSIG申請について報告。

学会・研修会名 : PLANNET

5. 教育部平成29年度新規事業について(青山教育部担当理事)

→承認

MTDLP推進のための研修会を平成29年度の新規事業として行いたいとの提案。

6. 現職者共通・選択研修の講師承認について（青山教育部担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

現職者共通研修

鐘ヶ江秀俊氏（療養介護事業所ひなた家）
日下部修氏（福岡医健専門学校）
榎本孝史氏（北九州リハビリテーション学院）
平岡敏幸氏（飯塚記念病院）
青山克実氏（麻生リハビリテーション大学校）
靱井剛士氏（株式会社Rキューブ）
佐野幹剛氏（九州栄養福祉大学）
森光洋子氏（北九州リハビリテーション学院）
石橋英恵氏（国際医療福祉大学）

現職者選択研修：必須MTDLP基礎研修

長谷麻由氏（国際医療福祉大学）
宮本香織氏（株式会社らそうむ）
都甲幹太氏（介護老人保健施設あやめの里）

7. 教育部主催研修会の講師承認について（青山教育部担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

中畑万里子氏（行橋氏役所福祉部介護保険課高齢者支援係係長 理学療法士
：生活支援で作業療法士が果たす役割）
靱井剛士氏（株式会社Rキューブ ；長期療養を強いられている方への作業療法）
佐野巧一氏（宗像水光会病院 ；長期療養を強いられている方への作業療法）
小山哲男氏（兵庫医科大学リハビリテーション医学教室教授
：脳卒中患者の予後予測と効果的な作業療法の実践）
天野暁氏（兵庫医科大学附属病院リハビリテーション部 作業療法士
：脳卒中患者の予後予測と効果的な作業療法の実践）

8. 第21回福岡県作業療法学会の講師承認について（有久学術部担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

山根寛氏（「ひとと作業・生活」研究会主宰：作業療法のかたち）
山田孝氏（目白大学リハビリテーション学研究科教授：地域での予防的作業療法）
高島千敬氏（広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科
：内部疾患に対する作業療法）
葉山靖明氏（ケアプラネッツ代表取締役：片麻痺サバイバーからの発信）

9. 第21回福岡県作業療法学会の市民公開講座講師承認について
（有久学術部担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

岡野雄一氏（漫画家「ペコロスの母に会いに行く」作者）

10. 福岡ブロック研修会講師承認について（黒木福岡ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

小川敬之氏（九州保健福祉大学：認知症の作業療法について）
板井幸太氏（おばた内科クリニック：作業療法士に必要な脳の知識）

11. 北九州ブロック研修会について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

都甲幹太氏（介護老人保健施設あやめの里：生活行為向上マネジメント基礎研修）

12. 北九州ブロック研修会について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認

以下の講師依頼について報告.

青山克実氏（麻生リハビリテーション大学校
：精神科における作業遂行技能の評価と実践）

13. ジャーナル「作業療法・福岡」第15号における執筆依頼について
(有久学術部担当理事) →承認 →一部修正の上承認
以下の執筆依頼について報告。また、執筆テーマについては一部修正の上承認。
古賀昭彦氏 (第20回福岡県作業療法学会学会長)
友利幸之助氏 (社会福祉法人ユームツ会 青潮園)
小林真司氏 (可也病院)
14. 会員の入会について (中川事務局長) →承認
平成28年5月30日から平成28年7月16日までの間に82名の入会があった。

VII. 協議事項

15. ハートメディア講演会のチラシ作成に関する業者選定について
(永田事業部担当理事) →承認
ハートメディア講演会のチラシ作成に関する業者選定について、三栄印刷株式会社、株式会社博多印刷の2社に見積もり依頼した。協議の結果、三栄印刷株式会社に依頼。
16. 公益事業における公開講座に関する合理的配慮の必要性について
(永田事業部担当理事) →承認
公益事業における公開講座に関する合理的配慮の必要性について提案。具体的な内容を今後、明確にしていく。
17. 作業療法の日イベント会場変更に伴う日程調整について
(永田事業部担当理事) →承認
作業療法の日のイベント会場について、木の葉モール橋本を計画していたが、会場変更の必要性が発生したため、会場はイオン八幡店と交渉を行ない、開催は10月30日を予定。
18. 日本作業療法士協会平成29年度功労者表彰選出について
(手島規約委員会担当理事) →承認
日本作業療法士協会平成29年度功労者表彰選出について、今回は対象者なし。

VIII. 報告事項 (特記報告のみ記載。他、資料参照とする)

19. 代表理事行動について (志井田代表理事)
平成28年6月～7月の代表理事行動について報告。
20. 県協会宛て依頼案件について (志井田代表理事)
平成28年6月1日から7月31日までの間に県協会宛てに16件の依頼 (研修会案内依頼4件、講師・委員派遣依頼7件、共催・講演依頼3件、その他依頼2件) があった。
21. 久留米市における地域ケアの現状について (濱本業務執行理事)
久留米市における地域ケアの現状についての報告。
22. 上半期事業報告・来年度事業計画等について (中川事務局長)
上半期事業報告・決算報告書、平成29年度事業計画・予算報告書の提出について依頼。
23. 災害対策について (竹中業務執行理事)
災害時の福祉避難所への作業療法士の派遣に関わる協定書についての相談があった。

IX. 次回開催日

- 平成28年度 第4回理事会
日時：平成28年10月3日 (月) 19:00～
場所：株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

各部・委員会からのお知らせ

【保健福祉部】

I. 報告事項

1) 活動報告

(1) 第4回高齢者支援ブロック実務者会議（筑後）

日時：平成28年7月6日（水）

場所：いきいき安武デイサービスセンター研修室

出席者：濱本孝弘，原野裕司，永田博明，
田中孝子，長野久雄，高山和規，
桑島俊明，石橋慎也，浅井完太，
小山大作，長野剛，深井伸吾

内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定
について

(2) 第5回高齢者支援ブロック実務者会議（筑後）

日時：平成28年8月3日（水）

場所：いきいき安武デイサービスセンター研修室

出席者：濱本孝弘，原野裕司，田中孝子，
長野久雄，桑島俊明，石橋慎也，
長野剛，浅井完太，小山大作，深井伸吾

内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定
について

(3) 第1回地域包括ケアシステム推進会議

日時：平成28年7月20日（水）

場所：宗像水光会病院

出席者：濱本孝弘，玉野和男，黒木勝仁，
大田登志樹，平岡敏幸，轟木健市，
田中聡，黒田隆之，佐野功一，
榎井剛士，長野久雄，永田敬生，
榎本孝史，許山勝弘，生駒英長，
深井伸吾

内容：地域包括ケアシステム推進について

(4) 第2回地域包括ケアシステム推進会議

日時：平成28年8月19日（金）

場所：福岡医療健康専門学校

出席者：志井田太一，濱本孝弘，玉野和男，
黒木勝仁，大田登志樹，平岡敏幸，
田中聡，黒田隆之，佐野功一，
榎井剛士，長野久雄，永田敬生，
榎本孝史，佐藤稔，深井伸吾

内容：地域包括ケアシステム推進について

(5) 第3回 特別支援教育対策企画会議

日時：平成28年7月5日（火）

場所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：濱本孝弘，曾根川達司，長野清一郎，
白武美智恵，徳吉悠子，鬼塚みゆき

内容：特別支援教育対策について

第3回地域包括ケアシステム推進会議

日時：平成28年9月21日（水）

参加：永田，榎本

2) 事業部事業企画会議

第5回事業部事業企画会議

日時：平成28年8月31日（水）

場所：福岡医健専門学校

第6回事業部事業企画会議

日時：平成28年9月14日（水）

場所：福岡医健専門学校

第7回事業部事業企画会議

日時：平成28年9月30日（金）

場所：福岡医健専門学校

【北九州ブロック】

<活動報告>

<北九州ブロック>

1) ブロック企画会議開催

平成28年7月 4日（月） 19:00～

（公社）福岡県作業療法協会事務所

平成28年9月12日（月） 19:00～

（公社）福岡県作業療法協会事務所

2) ブロック懇親会

日時：平成28年7月9日（土）19:00～

会場：焼鳥ダイニングTAITAN軍鶏専門

参加者：約30名

3) 第1回事例検討報告会開催

日時：平成28年7月15日（金） 19:00～

会場：八幡西生涯学習総合センター

コメンテーター：高崎 弘嗣氏（おかがき病院）

発表者：4名

聴講者：3名

4) 第27回全国ふうせんバレーボール大会

実行委員会発会式

日時：平成28年7月28日（木） 18:30～

会場：北九州市障害者スポーツセンター
アレアス

参加者：玉野

5) 第2回北九州ブロック全体研修会

日時：平成28年8月26日（金） 19:00～21:00

会場：九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス

テーマ：臨床実習教育について ～CCSを中心に～

講師：古賀昭彦氏（帝京大学）

松野豊氏（柳川リハビリ病院）

参加者：38名

<小倉北・門司エリア>

エリア事業企画会議開催

平成28年7月12日（火）19:00～

新小文字病院すみれ寮7階会議室

<小倉南・京築エリア>

【事業部】

<活動報告>

1) 地域包括ケアシステム推進会議

第2回地域包括ケアシステム推進会議

日時：平成28年8月19日（金）

参加：永田，榎本

エリア事業企画会議開催
平成28年7月20日(水) 19:00～
コミュニティスペース百屋

<広報部>

広報誌「北九OTネットvol.22」発行

【福岡ブロック】

<活動報告>

1) 事業企画会議開催

平成28年7月14日(木) 桜十字福岡病院 参加:22名
平成28年8月16日(火) 桜十字福岡病院 参加:15名
平成28年9月13日(火) 桜十字福岡病院 参加:19名

2) 広報部

- (1) 「Joy Style 夏号」平成28年8月20日発行
(2) Facebook: 随時更新中

3) 教育学術部

(1) 平成28年度 第1回 福岡ブロック研修会
テーマ: 「退院支援に活かせる社会資源」
講師: 中川美幸先生(早良病院 社会福祉士)
日時: 平成28年7月21日(木) 19:00～20:30
会場: 福岡赤十字病院 アネックス棟2階
椎木記念ホール
参加者: 51名 (うち他職種4名)

(2) 平成28年度第2回福岡ブロック研修会(予定)
テーマ: 地域での作業療法
～自分らしく生きる為に～

講師: 坂口 聡子先生
(コールメディカルクリニック福岡 作業療法士)
日時: 平成28年10月21日(金) 19:00～20:30
会場: ふくふくプラザ

4) エリア部

(1) 平成28年度第2回事例報告検討会(予定)
日時: 平成28年11月17日(木) 19:00～20:30
会場: 麻生リハビリテーション大学校

(2) 平成28年度第1回福岡ブロック福岡市南部地区
エリア会
テーマ: 「脳内ネットワークから考えるパーキン
ソン氏病のリハビリテーション」

講師: 板井 幸太先生
(おばた内科クリニック OTR)
日時: 平成28年9月7日(水) 19:00～20:30
会場: 福岡市男女参画推進センター
あみかす 研修室
参加者: 19名

5) その他

(1) 平成28年度 県民健康づくりセミナー
講師: 太田 研吾先生
日時: 平成28年8月9日(火) 14:00～15:00
会場: 福岡県医師会館
参加者: 45名

(2) 福岡ブロック親睦会

日時: 平成28年9月23日(金) 19:00～

会場: cafe tempo(福岡市中央区)

参加者: 30名

【筑豊ブロック】

<活動報告>

<公1>

I. 事業企画会議

第3回 筑豊ブロック事業企画会議

日時: 平成28年8月8日木曜日 19:00～20:30

会場: 飯塚記念病院 グランドホール

参加者: 15名

内容: 第3回筑豊ブロック研修会について,
第4回MTDLP基礎研修について, 他

II. 研修会報告

(1) 平成28年度新人研修会・歓迎会

<新人研修>

日時: 平成28年7月2日土曜日 17:00～18:30

場所: イイヅカコミュニティセンター
学習室303

テーマ: 「もしも〇〇が生活行為向上マネジメントを使ったら」

講師: 平岡敏幸氏

(筑豊担当理事, 飯塚記念病院)

参加者: 16名

<新人歓迎会>

日時: 平成28年7月2日土曜日 19:00～21:00

場所: あぐら

参加者: 30名(含 新人10名)

(2) 第3回 筑豊ブロック研修会

日時: 平成28年8月12日(金) 19:00～21:00

テーマ: 「認知症のQOL概念と治療的介入方略」

講師: 久野真矢氏

(国際学園作業療法学科開設準備室)

参加者: 60名

懇親会(会場: 一膳): 9名参加

(3) 現職者選択研修

第4回生活行為向上マネジメント基礎研修

日時: 平成28年8月28日(日) 9:20～17:30

会場: イイヅカコミュニティセンター
学習室401

講師: 都甲幹太氏(あやめの里)

参加者: 83名

<公2>

III. 広報誌

筑豊OT TIMES 第17号 平成28年7月15日発行

【筑後ブロック】

<活動報告>

<公1>

1) 事業企画会議

(1) 第3回 筑後ブロック事業企画会議

日 程：平成28年8月8日（月）19:30～

場 所：高良台リハビリテーション病院

出 席：11名

(2) 第3回 八女・筑後地区（B地区）企画会議

日 程：平成28年8月18日

場 所：介護老人保健施設 のぞみ船小屋

出 席：5名

(3) 第3回 有明地区（C地区）企画会議

日 程：平成28年9月5日 18:00～19:30

場 所：ガスト白金店

出 席：5名

(4) 第5回 広報部企画会議

日 時：平成28年8月16日 18:30～20:00

場 所：松岡病院

出 席：古賀，三浦，熊脇，高山（4名）

(5) 第6回 広報部企画会議

日 時：平成28年9月20日 18:30～20:00

場 所：松岡病院

出 席：古賀，三浦，熊脇，高山（4名）

2) 研修会

(1) 平成28年度 有明地区（C地区）研修会

日 時：平成28年8月25日 19:00～21:00

（受付開始18:30～）

会 場：帝京大学 福岡医療技術学部

テーマ：「認知症に優しい住環境」

講 師：吉田 誠治先生（株式会社 夢企画

代表取締役 一級建築士）

参加者：会員27名，熊本県士会員6名，PT7名，

Ns4名，CM4名，介護職6名，リハ助手1名，

学生1名 合計：56名

2) 第2回 筑後ブロック全体研修会 八女・筑後地区（B地区）担当

日 時：平成28年9月19日 10:00～12:00

（受付9:30～）

場所：専門学校久留米リハビリテーション学院

テーマ：「認知症の生活障害に対して作業療法士にできる事」

講 師：谷川良博先生

（広島都市学園大学作業療法学専門講師）

参加者： 79名（内CM1名，ST1名，Ns1名

介護福祉士1名）

〈公2〉

1. 広報活動

1) Facebook広報実施

(1) 熊本震災義援金募金

日赤平成28年度熊本震災災害義援金

17100円 募金実施（6/30）

*親睦会にて募金活動実施分

(2) 本協会ホームページ掲載依頼

・筑後ブロック有明地区（C地区）研修会（8/25）

・筑後ブロック全体研修会（9/19）

(3) Facebook活動報告

6/15：平成28年度 親睦会のお知らせ

(6/24)：再投稿

6/16：研修会のお知らせ「動き出しは当事者から」大堀具視先生（7/21）

6/20：ついんくる★★講座2016（シェア）

6/24：筑後ブロック 懇親会実施中

7/1：第21回福岡県作業療法学会情報

7/1：平成28年度 福岡県作業療法協会筑後

ブロック役員のご紹介（ムービー）

7/4：筑後ブロック 懇親会実施中

7/10：分野別勉強会の報告

7/14：筑後ブロック有明地区（C地区）

研修会のお知らせ（8/25）

7/18：筑後ブロック全体研修会のお知らせ

（9/19）

8/1：はがくれ呼吸ケアネットリーダー

研究会さんよりご案内（8/22）

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

1) 第4回 筑後ブロック事業企画会議予定

日 時：平成28年10月17日（月）19:30～

場 所：高良台リハビリテーション病院

（代表者）

2. 研修会

1) 平成28年度有明地区（C地区）事例検討報告会 予定

日 時：平成28年10月13日（木）19:00～

場 所：帝京大学福岡医療技術学部

2) 平成28年度 朝倉地区（D地区）研修会予定

テーマ：「障害者のQOL（仮）」

講 師：あんしんトラベル 高木笑美氏

日 時：平成28年10月21日（金）受付 18:30

研修会 19:00～20:30

場 所：甘木中央病院敷地内 介護老人保健

施設アルファ俊聖4階 大会議室予定

3) 平成28年度筑後ブロックMTDLP基礎研修会予定

日 時：平成28年11月13日（日）

9:00～17:00（受付8:30～）

場 所：久留米大学医療センター

講 師：国際医療福祉大学 長谷先生 予定

（他1）

1) 筑後ブロック交流会（秋のイベントBBQ）予定

日 時：平成28年10月1日（土）15:30～

場 所：筑後広域公園内

内 容：子育て世代のOTの方々が楽しめる

企画（広報戦略室企画）

はじめに

福岡市西区にある整形外科病院，福岡豊栄会病院に勤め出して今年で13年目．その間，急性期リハや同法人のデイケアを経て，現在回復期リハに戻ってきて5年が経過した．昨年より地域リハにも携わっている．歳は34歳，一応結婚もでき，一応子供も3人いる．仕事・遊び・家庭など多くの人ののおかげで日々を忙しく過ごさせてもらっている．今回，麻生リハビリテーション専門学校時代の担任の渡辺先生よりこのような機会を頂いたので，あっという間のこの期間を振り返らせてもらうこととした．



本人 相方のPT

振り返ると

入社当初は，初めて聞く疾患，手術，医療機器，訳がわからないままがむしゃらに過ごす日々を送っていたように思う．家には帰らず，同期の家に泊まり，夜な夜なお酒の力を借りて科長を含め先輩方の陰口をたたいていたような気がする．（相方のPTがしゃべり，自分は聴き手にまわっていたと思う）

5年目，介護保険部門に異動となり要介護者の方々がどのように在宅で生活しているか．どう家族と関わりながら生活しているか．何を思い，日々生活しているか．作業療法・運動療法・物理療法以外にすべきことはたくさんあった．対象者の多くは，デイケア利用時はイキイキと過ごされている．その一方で在宅時は依存的で閉じこもりのような生活をしている．地域に帰ったのに，地域で生活できていない．その答えは自分の作業療法にありました．対象者の皆さんを“患者さん”のまま退院させていたからです．入院中は退院を目標にリハビリを提供していました．退院できる状態にもっていくことがリハビリゴールと思っていました．だから，地域に戻っても“患者さん”のままです．週に2，3回の利用にも関わらず，入院中と同じリハビリを望まれ，ベッド上での“マッサージ”を提供することとなる．そこには素敵な生活目標はなく，主体性という言葉など欠片もない．送り出す側の医療人が悪い．そんなことを気付かせてもらい，“患者さん”から“利用者さん”になる作業療法を提供しようと切り替えることが出来たように思います．

現在は，病院に戻り回復期専従として，入院患者さんを地域に送り出す側として，いつもの7名（OT4名，PT3名），そして医師・看護師さんをはじめとする病棟スタッフと戦場を共にしている．自分たちの思いはなかなか伝わらないものの（特に看護師さん），いつもの7名とその他のリハスタッフと熱い熱いリハビリテーションを提供させてもらっている．「できるADL」→「しているADL」→「するADL」そして「したいADL」を引き出す．生活行為向上マネジメントは使える．最良のリハビリテーションは，主体性を引き出し，自己実現を可能にしていくもの．入院中に出来る限り機能・能力を回復させ，“市民・利用者”として笑顔になって地域に送り出したい．全ての対象者がそうあってほしいと切に思っている．

終わりに

苦楽を共にしている
いつもの7名

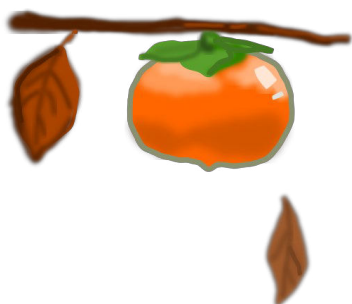
本当にあっという間に13年が過ぎた．最近では，地域リハに関わらせてもらっているせいか，はたまた年をとったせいか，一瞬一瞬におこる出来事に対しての自分の言動の重み・反響を感じ，自分の身の振る舞いを思い返すことがある．どんな顔してはなしてたかな．あのタイミングで良かったかなと．自分のゴールは全く描けていないが，職場の先輩・後輩，友人，対象者・その家族，全ては人とのかかわりの中で自分というものがあるし，今後も形成されていくものと思われる．OTとして，また1人の地域住民として，社会に貢献出来ることはたくさんあると思っている．これからも，人と共にOT人生を進みたい．

リレーエッセイ

多々良リハビリテーション病院 作業療法士 新城由美

みなさま、はじめまして。たたらリハビリテーション病院の新城由美と申します。当院は療養・障害者病棟、緩和ケア病棟に加え新たに地域包括ケア病棟を開設し、10月より199床の在宅療養支援病院として病棟機能を変更し再出発します。地域の健康を支えるという理念のもと、地域に根ざした医療活動を積極的に行っています。OT科としても認知症ケアなどの分野で力を発揮できるように、切磋琢磨しながら地域活動に参加しています。私はというと、OTになり10年目という節目を迎えております。特に、認知症分野では世間だけでなく職員の知識の未熟さを感じ、まずは自分がと学び深めるようになってから約7年程経ちます。回復期病棟から療養病棟担当を経て、患者さんの死と向き合うこともたくさんありました。本当に患者さんの想いに寄り添った支援ができていたのだろうか…と悩むことが少なくありません。そんな中、私事ですが改めて考えさせられる事件が起きました。

祖父の入院。入院中の祖父は環境の変化に適応できず「家に帰る」と暴れる毎日で、結局治療もそこそこに入院期間数日で退院することに。そんな祖父ですが、現在は家族の心配をよそに、我が家のいつもの場所で、いつものように（何事も無かったように）、満足気にお茶をすすっております。拍子抜けの展開でしたが、祖父にとって家族と過ごす我が家は絶対的な存在なのだを改めて感じました。この一件を通して改めて思います。個々が大切にしている人や場所、「作業」を私も一緒になって大切にしたいと。今後より地域に根差した医療を展開していくなかで、OTの活躍は期待され、結果（成果）を求められる時代になります。躓くこともあるでしょうが、クライアントの想いに寄り添うことが出来れば、自ずと結果（成果）はついてくると信じています。「聞く」のではなく「聴く」姿勢を大切に、そして笑顔を忘れずに…楽しみながら頑張ります！



医療法人 ながら医院

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 常勤・パート
【給 与】 年俸：330万円 時給：1500円
【賞 与】 なし
【勤務時間】 平日（月～金）：9時00分～18時00分
土曜日：9時00分～13時00分
【休 日】 日曜・祝日 年間休日104日
【福利厚生】 昇給・通勤手当・社会保険
【その他】 車通勤応相談
【備 考】

福岡市の中心にあり交通アクセスが便利です。地域密着型の親しみやすい職場です。

【連絡先】

住所：福岡県福岡市博多区東比恵3-20-1
電話番号：092-411-2358
FAX : 092-411-2557
担当者名：リハビリテーション科 早川

医療法人碧水会 門司田野浦病院

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 正社員
【給 与】 基本給 200,000円
勤務手当50,000円
【賞 与】 年2回(7月, 12月 4ヶ月)
【勤務時間】 8時30分から17時00分まで
【休 日】 土日曜(4週7休), 祝祭日, 年末年始
【福利厚生】 各種保険あり 社宅入居可
院内保育所有
【その他】 車通勤(社内規程により交通費支給)
【備 考】

療養病床95床 精神病床384床
病棟における作業療法やデイケアの担当要員を募集

【連絡先】

〒801-0803
北九州市門司区大字田野浦1018-1
電話番号 093-33-0800 Fax 093-331-0801
担当者 事務長 久野 信行

やすなが訪問看護ステーション

- 【募集職種】 作業療法士・理学療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 正社員
【給 与】 基本給198,000～
手当含む支給総額258,000～
(25才基準)
【賞 与】 業績により検討
【勤務時間】 8:30～17:30
【休 日】 土, 日, 祝, 年末年始(12/29～1/3)
【福利厚生】 社会保険完備
【その他】 訪問マイカー使用時1件500円
【備 考】

Nrs3名PT1名OT1名の訪問看護ステーションです。
利用者増につき急募です。

【連絡先】

〒822-0022
福岡県直方市知古1丁目6番1号
やすなが企画有限会社やすなが訪問看護ステーション
TEL 0949-24-6699・FAX 0949-24-8020
Mail yasunaga-houkan@helperstation.jp
担当：佐々木 智恵美

体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社/福岡市中央区天神5-4-15
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原3丁目9-20
TEL/092-938-2208
HP/http://www.takisyokai.co.jp



タキ商会

会員動向調査

調査期間 (2016. 6. 10~2016. 9. 8)

福岡県作業療法協会 会員数2,858名 (正会員2,574 自宅会員284名)

<入会>

緒方 利彦	かん養生クリニック	: 2016年6月	西隈 亮	正信会 水戸病院	: 2016年7月
沼口 誠	小倉リハビリテーション病院	: 2016年7月	山崎 誠之	あおぞらの里 古賀デイサービスセンター	: 2016年7月
中村 実華	介護老人保健施設 小倉南ヴィラガーデン	: 2016年6月	原田 信介	北九州津屋崎病院	: 2016年6月
丸山 詩央里	済生会 八幡総合病院	: 2016年7月	衛藤 陽亮	快互の杜 嬉楽庵	: 2016年6月
上村 奈央	北九州市立門司病院	: 2016年6月	小川 貴恵	福岡リハビリテーション病院	: 2016年6月
藤原 真子	北九州市立門司病院	: 2016年6月	水之江 彩	福岡リハビリテーション病院	: 2016年8月
佐藤 麻耶	北九州市立門司病院	: 2016年6月	八田 愛未	誠愛リハビリテーション病院	: 2016年6月
平澤 勉	九州栄養福祉大学	: 2016年6月	小柳 ちひろ	誠愛リハビリテーション病院	: 2016年6月
片岡 亜季子	(株) リライブ リハディ吉木	: 2016年8月	片岡 美希	誠愛リハビリテーション病院	: 2016年8月
塩川 剛弘	浅木病院	: 2016年8月	金澤 省吾	誠愛リハビリテーション病院	: 2016年7月
久坂 恭史	介護老人保健施設 サンダグレース	: 2016年8月	永村 大飛	福岡和白病院	: 2016年6月
増田 志帆	北九州中央病院	: 2016年7月	高岩 昭史	福岡和白病院	: 2016年5月
大西 みなみ	門司メディカルセンター	: 2016年7月	鎌田 倫代	福岡和白病院	: 2016年8月
長野 真実	北九州市立総合療育センター 西部分所	: 2016年7月	中谷 郁香	福岡和白病院	: 2016年8月
塩屋 望	北九州市立総合療育センター	: 2016年6月	清末 理子	福岡和白病院	: 2016年8月
松田 美樹	戸畑リハビリテーション病院	: 2016年6月	丸屋 夏穂	桜十字福岡病院	: 2016年8月
川崎 里絵	大川病院	: 2016年7月	原 由里菜	桜十字福岡病院	: 2016年8月
濱崎 英朗	新小文字病院	: 2016年6月	伊藤 竜太	白十字病院	: 2016年8月
内賀 香保里	介護老人保健施設 博愛苑	: 2016年6月	藤田 徳子	白十字病院	: 2016年8月
大塩 啓介	(株) つつじ庵	: 2016年6月	園田 寿美礼	千鳥橋病院	: 2016年5月
吉川 美咲	製鉄記念八幡病院	: 2016年6月	山口 明香	千鳥橋病院	: 2016年7月
泊 雅子	正和なみき病院	: 2016年6月	近森 瑞希	千鳥橋病院	: 2016年8月
福田 篤志	障がい者就労支援施設 みらい	: 2016年6月	作本 珠唯	千鳥橋病院	: 2016年7月
山本 和哉	北九州安部山公園病院	: 2016年6月	瓜生 佳子	那珂川病院	: 2016年7月
田中 南夢	北九州安部山公園病院	: 2016年6月	吉田 里香	那珂川病院	: 2016年7月
今久留主 真	新小文字病院	: 2016年6月	矢野 暁彦	那珂川病院	: 2016年7月
百留 玲奈	北九州総合病院	: 2016年6月	吉田 里香	那珂川病院	: 2016年7月
竹原 浩司郎	福岡新水巻病院	: 2016年8月	甲藤 晴菜	香椎丘リハビリテーション病院	: 2016年8月
池田 里紗	福岡病院	: 2016年7月	三浦 幸恵	香椎丘リハビリテーション病院	: 2016年5月
地頭所 美江	福岡病院	: 2016年7月	日高 美紀	香住ヶ丘リハビリ訪問看護ステーション	: 2016年6月
空元 裕太	福岡病院	: 2016年7月	矢羽田 真由	福岡徳洲会病院	: 2016年8月
大我 昂平	福岡病院	: 2016年7月	藤村 圭介	福岡徳洲会病院	: 2016年6月
朽原 努	福岡青洲会病院	: 2016年6月	井上 慶一	牧病院	: 2016年7月
田中 遼	宮田病院	: 2016年8月	山田 翼	原病院	: 2016年8月
河村 寛	緑風会 水戸病院	: 2016年6月	水田 光之祐	原土井病院	: 2016年7月
西村 孝夫	緑風会 水戸病院	: 2016年8月	友田 麻未	倉光病院	: 2016年7月
戸山 祐佳	久山療育園 重症児者医療療育センター	: 2016年8月	平野 真成	シーサイド病院	: 2016年6月
			河口 真之	福岡通信病院	: 2016年5月
			安川 博多郎	樋口病院	: 2016年6月
			手島 茂盛	福岡リハビリテーション専門学校	: 2016年5月

水落 由里子 栄光病院 : 2015年12月
(自宅より)

吉海 麻衣子 泰平病院 : 2016年4月
(岡部病院より)

吉田 リエ あおぞらの里 古賀訪問看護
ステーション : 2016年4月
(博愛会病院より)

木津 健太 福岡市民病院 : 2016年8月
(福西会南病院より)

齊田 彩子 千鳥橋病院 : 2016年4月
(たたらりハビリテーション病院より)

板井 幸太 おばた内科クリニック
: 2016年9月
(福西会病院より)

白水 千尋 (株) REEHA リハの実
: 2016年8月
(博愛会病院より)

眞戸原 寛子 介護老人保健施設湯乃里まとば
: 2016年4月
(福岡徳洲会病院より)

高橋 あゆみ カラーズ訪問看護ステーション
: 2015年12月
(エイドケア訪問看護ステーションより)

藤吉 理沙 杉病院 : 2015年3月
(自宅より)

田島 聖也 デイサービスセンター 草ヶ江
: 2014年8月
(博愛会病院より)

松尾 利美 訪問看護ステーション 悠
: 2015年4月
(新行橋病院より)

矢野 祐子 みさき病院 : 2016年9月
(米の山病院より)

江崎 かおる 杉循環器科内科病院 : 2005年12月
(ヨコクラ病院より)

芝原 冬馬 おおかわ訪問看護ステーション
: 2016年4月
(高木病院より)

原田 憲彰 小郡弥生訪問看護ステーション
: 2014年5月
(丸山病院より)

松尾 香織 みずま高邦会病院 : 2016年4月
(有明総合ケアセンターより)

今村 佳穂 嶋田病院 : 2016年4月
(福岡赤十字病院より)

有川 智之 久留米総合病院 : 2016年4月
(光安整形外科より)

園田 恵利 聖ルチア病院 : 2016年4月
(聖マリア病院より)

松石 治 柳川リハビリテーション病院
: 2016年4月
(おおかわ訪問看護ステーションより)

弥永 浩一郎 自宅 : 2016年7月
(ふれあいの里 道海 より)

池田 康徳 自宅 : 2016年9月
(大牟田共立病院より)

<退会者>

西 恒一郎 : 2016年5月
宇都 美咲 : 2016年6月
シェローダー 里織 : 2016年6月
今任 洋就 : 2016年6月
赤星 円 : 2016年6月
堀之内 陽一 : 2016年7月
下田 知佳 : 2016年8月
郡谷 真理絵 : 2016年8月
吉原 逸平 : 2016年8月
甲斐 悠里菜 : 2016年8月

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もごございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

今回の特集は「臨床で始める作業療法研究入門」です。研究と聞くと難しいイメージをもたれる方も多いと思いますが、臨床の中で疑問を抱き、解決に到るまでが研究だとすると、臨床は常に研究の連続ということになります。次の段階はそれを文章化・言語化することです。作業療法の臨床は目に見えにくいため、自分が行っている作業療法の目的や意図が明確になるように文章化・言語化する技術を磨き、他者に伝えることの必要性を常に意識することが大切だと改めて感じました。何度も読み返したくなる特集です。久野先生、ありがとうございました。(許山)